

第61回

宮崎県 母と女性教職員の会

テーマ『 **子どもたちに平和な未来を ~ 護ろう憲法 いのち・からだ・こころ ~** 』

男性を含め、どなたでも参加OKです！

当日参加もOKです！

◆ 日 時 **11月22日(土)** 受付12:30~

● 全体会・公演 13:00~14:30

戦争を語り継ぐ朗読劇

戦後は終わらない「のり子八歳」

宮崎地区退職教職員協議会「戦争を語り継ぐ会」

● グループトーク（内容は裏面） 14:40~16:20

◆ 会 場 **宮崎市民プラザ4階 大会議室ほか**（地図は裏面）

◆ 保育室、情報保障（手話通訳）をご希望の方は

10月31日（金）までにお知らせください。

「母と女性教職員の会（略称：母女）^{ははじょ}」は、母親と女性教職員が、同じ女性として、母親として、子どもたちの明るい未来について考えていく会です。県集会は今年で61回目。全国集会は72回目を迎えました。わが子のこと、児童・生徒のこと、地域の青年たちのこと、私たちのことを語り合いましょう。もちろん男性を含め、どなたでも参加OKです。

下記の二次元コードからお申込みください。全体会のみ、グループトークのみの参加もOKです。保育・情報保障（手話通訳）のお申込みもこちらからお願いします。

電話でのお申し込みは下記へお願いします。

主 催 宮 崎 県 教 職 員 組 合 (0985-77-5577)
宮崎県高等学校教職員組合 (0985-72-8080)
後 援 教育を明るくする宮崎県民連合



「戦争を語り継ぐ会」の朗読劇について

「戦後は終わらない」と題された「田村のり子」の戦争体験が宮崎県教職員組合の機関誌に掲載されたのは 1981 年のことです。紆余曲折を経て、退職者の仲間で「戦争を語り継ぐ会」を発足させ、体験者「のり子」を中心にして教科書や史実書を参考に、「戦後は終わらない『のり子八歳』」の朗読劇脚本を完成させ、語り継ぐ活動を開始したのが 2015 年です。以後、宮崎市内の中学・高校を中心に公演を行っています。コロナ禍の活動休止中には朗読劇を DVD に収録して宮崎市内の中学・高校に配布し、学習の場で活用していただきました。

《朗読劇の内容》 3 部構成

第二次世界大戦時、満州開拓団の家族として「満州」に送り込まれた8歳の少女「のり子」の戦争体験の一部です。①日中戦争と満州開拓団の時代背景 ②「満州」における逃避行と難民生活の体験 ③帰国後の生活と平和への願い

◆ グループトーク：テーマと内容 ◆

グループ A	「子ども・子育ての悩み 1」 〈子育てには悩みがいっぱい〉 「障害」のあるなしにかかわらず、共に生きていける社会をどうつくり出していけばよいのでしょうか。子どもの姿を通して本音で語り合しましょう。
グループ B	「子ども・子育ての悩み 2」 〈子育てには悩みがいっぱい〉 子どもの思いをどう受け止め、どう寄り添っていけばいいか。共に語り合しましょう。 ○学力や進路のもんだい ○人間関係づくり ○ネットトラブル ○スポーツ少年団・部活動のもんだい 他
グループ C	「平和・人権のもんだい」 〈子どもたちに平和なくらしを残そう〉 戦争は最大の人権侵害です。世界に誇る平和憲法を護り、平和な社会を子どもたちに手渡すため、人権・環境の視点から考えていきましょう。 ○平和 ○憲法 ○原発 ○食のもんだい ○性のもんだい ○ジェンダー平等



宮崎市民プラザ

住 所：宮崎市橋通西 1 丁目 1-2

駐車場 A：市民プラザ地下駐車場

駐車場 B：松橋駐車場

※大淀川河川敷も利用可

	場所	台数	料金	利用時間
市民プラザ専用駐車場	地下駐車場	71 台 + 身障者 6 台	2 時間以内無料 (2 時間以上 1 時間 100 円)	8 時 30 分 ~ 22 時 30 分
	松橋駐車場	37 台 + 身障者 2 台	無料	8 時 30 分 ~ 22 時 30 分